

学校法人馬越学園 西条みづき認定こども園 まごし産婦人科

理事長 馬越 洋介様 (お写真は左からスタッフの相森 美妃様、河岡 波季咲様)

施設情報

「ただお子さまを預かる場」という考えを取り払い、「教育」を提供したいという思いから2003年に設立。こどもたちが生き生きと暮らし、また保護者の方にも子育てを楽しんでいただける環境づくりに励まれています。



“霧がシューっと出てくるビジュアルがとても効果的。
保護者の方にも加湿意識を持っていただけます。”

家庭用加湿器では力不足

以前は、認定こども園とグループの産婦人科の3拠点で20台ほどの家庭用加湿器を使用していましたが、八本松みづき認定こども園が開園してほどなく、業務用加湿器への切り替えを決めました。というも、八本松の一番広い部屋はテニスコートよりも広く、家庭用を何台置いても加湿が追い付かなかったのです。認定こども園の教室や、産婦人科の待合室では風邪予防のために加湿が必要。そう考えて取り組んではいたのですが結果が出ず。「どうにか湿度を上げたいな」と雑談していると、当学園理事で、工場の役員をしている方が「ここはクリーンルームと同じような大きさなんだから、家庭用で加湿したって意味がないと思うよ」と一言。その方は以前にいけうちのAirAKI®という産業用加湿システムを自社で導入されており、色々アドバイスをくださったので、「それなら」と連絡を取ってみることにしました。



▲西条みづき認定こども園での噴霧風景

補助金の活用

営業さんに当園の施設状況を見ていただいた際に、固定式よりは可搬式がいいだろうとのことで、潤霧®の方を検討することにしました。他社の業務用加湿器も検討し悩んだのですが、最終的には「いけうちの加湿製品はクリーンルームで使われるほど品質が良い」という事実が、潤霧®導入を後押ししました。

また、補助金*が使えるということも強みでした。認定こども園には施設の充実を目的とした補助金があり、だいたい遊具を対象としているのですが、加湿器にも利用できます。我々の場合は補助金のおかげで約半額で潤霧®を導入できました。

*平成30年度 広島県教育支援体制整備事業費補助金。
自治体により補助金交付額等は変わります。

認定こども園でも安全に稼働

認定こども園でも産婦人科でも、目標湿度は60%に設定しています。電源は朝からつけっぱなしで使用していますが、午後にかけて2~3回の給水のみで済みますね。産婦人科の方は巡回があるため、ある程度給水のたびに給水をしています。一方認定こども園では、一度クラスのイベント(お遊戯の練習や校庭での遊びなど)が動き

だすと、次のイベントの切れ目まで給水は行いません。そのため、タンク容量が多く給水しにくい潤霧®はありがたいです。給水自体も以前より楽になったとスタッフより聞いてます。キャスターが付いているのでタンクを抱えて持っていく必要が無くなったことがいいですね。操作も煩わしく感じることはないです。

営業さんから「潤霧®は静音性よりも加湿のパワーで勝負している」とのお声がありましたが、実際運用してみると、稼働音が気になるということはありませんでした。お昼寝の時間も稼働していますが、潤霧®が原因で起きてしまった子は一人もいませんでしたし、発表会などのしんとした会場で噴霧させていてもクレームはありませんでした。認定こども園や他保育施設は普段からこどもたちのにぎやかな声で溢れていますから、潤霧®は十分静音だと言えます。安全性の面から見ても、そこそこ大きなものを動き回るこどもの近くに置くのは少し不安だったのですが、問題ありませんでした。こどもたちにとって潤霧®は乗ったり押ししたりする気が起こらない絶妙なサイズ感らしく、心配していた事故トラブルも全くないです。

十分な効果&保護者の方への啓蒙にも

やはり加湿力がアップしたことが嬉しいですね。フル稼働しているホールの園児には風邪やインフルエンザが広まっていません。乾燥による咳などから広まるのでしょから、今年は加湿が十分できていたのだと実感しています。子どもたちよりも、潤霧®を設置していない職員事務所のスタッフの方が体調不良になりました。産婦人科の待合室でも、咳でゴホゴホしている人を見かけなくなりました。妊婦さんにはできるだけ投薬を控えたいので、咳止め薬を処方せずに済むのは有難いです。設定湿度に達すると自動で運転を休止することもありがたいです。以前の加湿器は最初に設定を「強」にすると最後まで強のままだったのですぐ過水、湿度が上がりすぎるといった問題点がありました。

また、霧がシューっと出てくるビジュアルがいい啓蒙になりました。保護者の方にいくら加湿の重要性を訴えても、家に帰ってまで加湿を徹底してくれる方はなかなかいなかったのですが、インパクトのある加湿現場を見せることで、「家でも加湿なくては」という意識を持っていただきやすくなったと思います。

今後の展望

いけうちではもっと各業界向けのアプローチを分かりやすくしていったらいいと思います。潤霧®は教育・保育施設の需要にとってもマッチした製品であるのに、モノの良さが分かりづらくもったいないと感じます。

加湿とは結局形のないもの。我々も潤霧®を導入してから感染症の拡大がおさえられたことなどの効果を、保護者の方や外にアピールできていないのが正直なところ。見えない所にお金をかけて、見えない効果が出ているということがあまり伝わっていないのです。我々もいけうちも、加湿に対する取り組みの努力を正しく「見える化」していくことが、今後の目標ではないでしょうか。



▲まごし産婦人科での噴霧風景①



▲まごし産婦人科での噴霧風景②

Product Details

可搬式パワフル加湿ユニット 潤霧®

約100畳の広さを加湿

潤霧®の加湿方式は粒子径20~30μmの微細な霧をノズルから直接空気中に噴霧する噴霧式。1時間当たり4.7ℓのパワフルな加湿量ながら、消費電力はわずか74Wと省エネ性にも優れる。1日の電気代はなんと約19円※。わかりやすい操作パネルで、誰でも簡単に湿度設定やタイマー設定といった自動運転を行える。

※ 1日12時間稼働、1kWh単価22円で計算。



わかりやすい操作パネル

潤霧®の操作パネルは誰でも簡単にお使いいただけるよう文字を大きく、ボタンは少なく配置。湿度設定も切タイマー設定も迷うことなくスムーズに操作可能。

湿度設定	40%	50%	60%
切タイマー	15分	30分	60分



うるむ

大容量の給水タンク

潤霧®の給水タンクは6ℓタンクが3本で計18ℓと大容量。タンクを3つに分けたことで誰でも楽に給水が可能。空になったタンクは正面の表示窓でお知らせ。

全てのタンクの水がなくなると、内蔵の過水センサーが働き、自動的に運転が停止し、アラームでお知らせする。



お問い合わせ・資料請求・デモ実演・お見積りは下記まで。「取材リーフレットを見た」とお伝えいただくとスムーズにご対応可能です。お気軽にご連絡ください。